

2025年度 勤務医 負担軽減計画表

部署名	項目	目標
看護局	早期治療、在宅療養支援に向けた情報共有	院時アセスメント用紙の活用、看護記録システムの活用ルールの周知徹底 入退院支援チームとの情報共有 訪問診療への情報共有、経過の共有 初診時の予診、検査手順、入院の説明実施
	タスク・シェア/シフト	特定行為研修終了生の活用評価 カンファレンス件数等の増加
薬剤部	薬剤鑑別入力と持参薬オーダ入力の継続	薬剤鑑別入力と持参薬オーダ入力の継続
	薬剤管理指導の充実	初回面談の充実
	病棟薬剤管理業務(処方検査含む)	新しい電子カルテ導入と共に、必要な情報の整理
リハビリテーションセンター	リハが必要な患者のオーダー漏れを軽減させるための働きかけ	病棟におけるオーダー漏れゼロ
	専門職としてリハからDrへの情報提供を行う	情報共有・チーム医療の推進
栄養管理室	適切な栄養指導の継続	糖尿病患者や慢性腎臓病患者に対して、透析予防を目的とした指導を行なう
		栄養指導の必要性を管理栄養士が感じた時は、医師に提言し指示を仰ぐ
		入院患者の栄養面での向上を目指し医師に提案していく
医療機器管理室	医療機器に関わる幅広いサポート (透析、内視鏡、オペ室、心カテ) タスクシェアの推進	安全に検査・治療が行えるように各分野の知識向上、スキルアップを目指す
画像診断センター	画像診断サポート	重要症例を連絡する「画像診断チェックシステム」をフルに活用する
		検査オーダー内容の確認を徹底する
		緊急検査(飛び入り検査)への迅速対応を継続する
臨床検査室	診療補助の安定継続	中央採血室・健診科での採血業務
		透析センター・眼科への人員配置
		パニック値(異常値)の報告を確実に行う
医療サービス課 DC	医師事務作業補助体制	外来・入院診療補助 診断書などの文書作成補助等 医療の質向上に資する事務作業
人事部・総務部	医師の働き方改革	医師の採用強化
		育児・介護休業法の規定による短時間正規雇用医師の活用
		連続当直を行わない勤務体制の実施

2025年度 看護職員 負担軽減計画表

部署名	項目	目標
薬剤部	薬剤についての院内研修	ハイリスク薬について、みんなの学びを応援する
	定期処方における週1回の配役カートセットの継続	マニュアル化、他部署の方々に教育開始
	持参薬の鑑別入力および配役カートセットの継続	看護師と薬剤師と協働して運営
	薬剤管理指導の充実	薬剤管理指導の件数UP
リハビリテーションセンター	リハ視点からの病棟支援 (患者の病棟ADLの質を向上させる)	積極的な病棟ADL訓練
		院内デイ実施による認知症支援
		リハ・栄養・口腔の一体的連携
医療機器管理室	協働業務(透析部門/内視鏡部門)	透析部門 看護師が患者ケアに専念できるようにする
		内視鏡部門 安全で円滑に検査ができる人員を確保する
画像診断センター	検査業務のサポート	造影剤の注射業務
		患者搬送の手伝い
臨床検査室	検査の安定供給	採血室、健診での採血業務の継続
		生理検査の患者搬送補助、もしくはポータブル対応
医療サービス課 病棟	病棟事務業務分担	看護師事務的業務の負担軽減 (書類の内容確認、分別整理、様式9確認等)
人事部	職員の採用促進	看護師の新卒採用に関する活動 介護職の外国人介護人材の採用 様々な経路での採用活動

当院では、負担軽減に係る以下の加算を算定しています

■医師事務作業補助者体制加算

病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善として、医師事務作業補助者の外来診療補助や他職種との業務分担に取り組んでいます。

■急性期看護補助体制加算

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善として、看護職員と他職種との業務分担、看護補助者の配置、短時間正規雇用の看護職員の活用、妊娠・子育て中・介護中の看護職員に対する配慮、夜勤負担の軽減などに取り組んでいます。